

第21回 市民向け公開講演会

重粒子線がん治療の実際と 今後の可能性

2026年1月24日(日) 13:30 ~ 16:00
(開場 12:30)

はまぎんホール・ヴィアマーレ
(〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1-1)



共同主催：公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団、地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

後援：文部科学省、厚生労働省、国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構、公益財団法人 日本対がん協会、
公益社団法人 日本放射線腫瘍学会、神奈川県

開催にあたって

神奈川県立がんセンターは、2015年12月、日本で5か所目となる重粒子線治療施設 i-ROCK (ion-beam Radiation Oncology Center in Kanagawa) を開設し、世界で初めて、がん専門病院内に設置された重粒子線治療施設として、2025年に10年目を迎えました。2025年12月末時点で、4,834人の患者さんに重粒子線治療を行っています。施設内には、直径20メートルの円形加速器(シンクロトロン)と4室の治療室を備え、高速三次元スキャンニング照射法による先進的な治療を提供しています。また、がん専門病院の強みを生かし、安全を最優先に、科学的根拠に基づいた診療を行っています。重粒子線治療に限らず、薬物療法や手術療法も含め、患者さん一人ひとりの状況に応じて、総合的によりよい治療を提供できる体制を整えています。

医用原子力技術研究振興財団は、粒子線等による先端がん治療をはじめとする、各種放射線による疾病の治療および診断等に関する医用原子力技術を推進するとともに、その普及を図ることを目的として、講演会・セミナー・施設見学会等の開催、広報資料の発行、情報収集・発信、および放射線治療施設の品質管理支援事業を行っています。公開講演会は、「人にやさしいがんの放射線治療」を基本テーマとして、放射線利用技術が診断・治療等のさまざまな医療の現場で活用され、役立っていることを、広くわかりやすく一般の方々へご紹介し、国民生活に身近で、貢献度の高いものであることをご理解いただくことを目的として毎年各地で開催しています。

第21回目となる今回は、横浜市において「重粒子線がん治療の実際と今後の可能性」をテーマとして、神奈川県立がんセンターにおける最新の治療の状況や取り組みについてご紹介させていただきます。この講演会を通じて、重粒子線がん治療および同治療に取り組んでいる同センターについて、神奈川県および周辺地域の皆さまが関心をもち、理解を深めていただくことを目指します。さらに、患者自らががんをよく知り、恐れず積極的に向き合う環境づくりを進め、広く国民全体の福祉の向上につながることを期待します。

共同主催 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター
公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団

プログラム

13:30 - 13:35	開会のあいさつ 垣添 忠生 (医用原子力技術研究振興財団 理事長)
13:35 - 13:45	神奈川県立がんセンターの紹介 酒井 リカ 先生 (神奈川県立がんセンター 病院長)

第Ⅰ部

13:45 - 14:30	特別講演 石川 仁 先生 (量子科学技術研究開発機構 QST 病院 病院長)
14:30 - 14:45	休憩

第Ⅱ部

14:45 - 15:10	一般講演 重粒子線が変えるがん治療：前立腺がんから腎がんへの新たな展開 中井川 昇 先生 (神奈川県立がんセンター 泌尿器科 部長)
15:10 - 15:35	一般講演 重粒子線で挑む膵臓がん・肝臓がん治療 戸塚 雄一郎 先生 (神奈川県立がんセンター 消化器内科肝胆膵 医長)
15:35 - 15:45	一般講演 その他部位と重粒子線治療 加藤 弘之 先生 (神奈川県立がんセンター 放射線治療科 部長)
15:45 - 15:55	質問コーナー 加藤 弘之 先生 (神奈川県立がんセンター 放射線治療科 部長)
15:55 - 16:00	閉会のあいさつ 古瀬 純司 (神奈川県立がんセンター 総長)

開会のあいさつ



かきぞえ ただお
垣添 忠生

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団 理事長
公益財団法人 日本対がん協会 会長

【略歴】

1967年東京大学医学部医学科卒業。同年東京大学医学部附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科に勤務後、1972年東京大学医学部泌尿器科文部教官助手。

この頃から膀胱がんの基礎研究に携わり、大学の勤務終了後、夜、国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975年国立がんセンター病院泌尿器科に勤務し、1987年同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て、1992年1月に病院長、同年7月に中央病院長、2002年4月総長に就任。2007年4月国立がんセンターを退職し、同名誉総長、財団法人 日本対がん協会会長に就任。

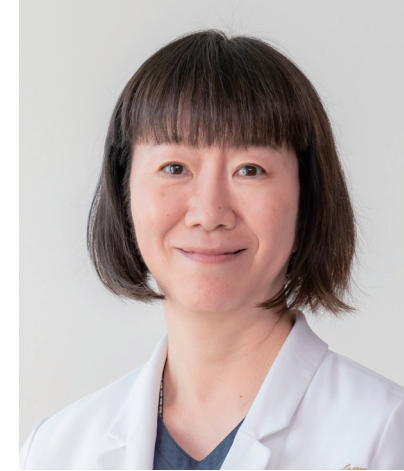
2014年6月 公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団理事長に就任。

専門は泌尿器科学だが、発がん全般、特に膀胱発がん、前立腺発がんについては今も強い関心を持っている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしてきた。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、並びに瑞宝重光章などを受賞、2019年12月より日本学士院会員。

【主な著書】

- 『発がんからみた膀胱がんの臨床』（メディカル・ビュー社）
- 『がんと人間』（共著岩波新書）
- 『患者さんと家族のためのがんの最新医療』（岩波書店）
- 『前立腺がんで死なないために』（中央公論社）
- 『妻を看取る日』（新潮社）
- 『悲しみの中にあるあなたへの処方箋』（新潮社）
- 『がんと人生』（中央公論新社）
- 『巡礼日記 一亡き妻と歩いた600キロ』（中央公論新社）
- 『「カキゾエ黄門」漫遊記』（朝日新聞出版） など

神奈川県立がんセンターの紹介



さかい
酒井 リカ

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター 病院長

【学歴・職歴】

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| 平成元年3月 | 佐賀医科大学 医学部 卒業 |
| 1989 平成元年6月 | 横浜市立大学医学部附属病院 研修医 |
| 1991 平成3年6月 | 神奈川県立がんセンター レジデント |
| 1994 平成6年6月 | 神奈川県立がんセンター 内科4科 |
| 1996 平成8年6月 | 横浜市立大学医学部浦舟病院 第一内科 |
| 1998 平成10年4月 | 茅ヶ崎市立病院 一般内科 医長 |
| 2000 平成12年4月 | 藤沢市民病院 血液膠原病科 医長 |
| 2005 平成17年4月 | 神奈川県立がんセンター 血液科 医長 |
| 2007 平成19年4月 | 横浜市立大学附属
市民総合医療センター 無菌室准教授 |
| 2011 平成23年4月 | 神奈川県立がんセンター 腫瘍内科部長 |
| 2019 平成31年4月 | 神奈川県立がんセンター 副院長 兼
血液・腫瘍内科部長 |
| 2023 令和5年4月 | 神奈川県立がんセンター 病院長
現在に至る |

【資格等】

- ・日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- ・日本血液学会 専門医・指導医
- ・日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医
- ・日本造血・免疫細胞療法学会 造血細胞移植認定医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本輸血細胞治療学会 認定医、細胞治療認定管理者

【役職等】

- ・神奈川県がん診療連携協議会 会長
- ・神奈川県がん診療連携協議会
がん薬物療法部会 部会長
- ・神奈川県がん対策推進審議会 委員
- ・日本内科学会 関東地方会 幹事
- ・神奈川県がん・生殖医療ネットワーク
(KanaOf-Net かなおふネット)
代表幹事
- ・日本血液学会 評議員
- ・日本血液学会 診療委員会
(診療実務関連) 委員
- ・日本血液学会関東甲信越地方会
幹事
- ・日本臨床腫瘍学会 協議員
- ・日本造血細胞移植学会 評議員
- ・日本癌治療学会 代議員
- ・日本癌治療学会
がん診療ガイドライン作成・改訂委
員会 小児、思春期・がん患者の妊
孕性温存に関する診療ガイドライン
評価ワーキンググループ委員
- ・日本リンパ網内系学会 評議員

第 I 部 特別講演



いしかわ ひとし
石川 仁

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構QST 病院
病院長

【学歴・職歴】

1995年3月 群馬大学医学部卒業
2002年3月～ 群馬大学大学院医学研究科
博士課程修了 博士（医学）取得
2002年4月～ 群馬大学医学部・放射線科・助手
2004年4月～ 放射線医学総合研究所・
重粒子医科学センター病院・医長
2006年10月～ 群馬大学医学部・放射線科・講師
2008年4月～
2009年3月 在外研究
米国 Rochester 大学：Visiting Associate Professor
2011年7月～ 筑波大学医学医療系・放射線腫瘍学・准教授
2017年12月～ 同・教授
2020年4月～ 量子科学技術研究開発機構 QST 病院 副病院長
2024年4月～ 現職

【受賞歴】

2007年 国際癌治療増感研究協会 研究奨励賞
2009年 日本放射線腫瘍学会 梅垣賞
2009年 北関東医学会 奨励賞
2013年 日本癌治療学会 優秀演題賞
2016年 日本放射線腫瘍学会 優秀教育講演賞
2021年 日本放射線腫瘍学会 阿部賞

【学会活動・役職】

・日本放射線腫瘍学会：
理事，代議員，生物部会常任幹事，
粒子線治療部会幹事
・日本肺癌学会：
理事，評議員，ガイドライン検討
委員会・委員長
・日本食道学会：
理事，評議員，
規約委員会・委員長
・日本量子医科学会：
理事・代議員
・日本放射線腫瘍学研究機構：理事
・日本ハイパーサーミア学会：理事，
代議員，倫理委員会・委員長
・日本癌治療学会：評議員
・日本医学放射線学会：代議員
・日本泌尿器腫瘍学会：評議員

【主な著書】

がん・放射線療法 改訂第8版
(秀潤社 Gakken)

第 II 部 一般講演



なかがわ のぼる
中井川 昇

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター
泌尿器科 部長
前立腺センター センター長
横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 客員教授

【学歴・職歴】

1989年 横浜市立大学医学部卒業
1991年 横浜市立大学泌尿器科入局
1996年 米国国立癌研究所客員研究員
1999年 横浜市立大学医学部附属病院・泌尿器科・助手
2005年 横浜市立大学医学部附属病院・泌尿器科・准教授
2014年 横浜市立大学大学院医学研究科・泌尿器科学・准教授
2022年 神奈川県立がんセンター・泌尿器科・医長
横浜市立大学大学院医学研究科・泌尿器科学・客員教授
2024年 神奈川県立がんセンター・泌尿器科 部長・前立腺センター センター長
(現在に至る)

第II部 一般講演



とづか ゆういちろう
戸塚 雄一郎

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター 消化器内科肝胆膵 医長

【学歴・職歴】

- 2011年～ 新潟大学医学部医学科卒業
済生会新潟第2病院 初期研修医
- 2013年～ 横浜市立大学消化器内科学教室入門
横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター
- 2015年～ 横浜南共済病院消化器内科
- 2017年～ 神奈川県立がんセンター消化器内科
- 2019年～ 横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター
- 2022年～ 神奈川県立がんセンター消化器内科
- 2023年 横浜市立大学大学院医学研究科卒業 医学博士



かとう ひろゆき
加藤 弘之

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター 放射線治療科 部長

【学歴・職歴】

- 2001年 群馬大学医学部卒業
- 2002年 群馬大学医学部附属病院・放射線科・研修医
- 2003年 群馬県立がんセンター・レジデント
- 2004年 群馬大学医学部附属病院・放射線科・医員
- 2006年 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院・医師
- 2008年 群馬大学・重粒子線医学研究センター・助教
- 2014年 ハイデルベルク大学（ドイツ連邦共和国）
「頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラム・海外派遣若手研究者」
- 2017年 群馬大学医学部附属病院・放射線科・講師
- 2018年 神奈川県立がんセンター・放射線治療科（重粒子線治療部門）部長

横浜市立大学・放射線治療学教室・客員准教授

群馬大学・腫瘍放射線学教室・非常勤講師

福島県立医科大学・放射線腫瘍学講座・非常勤講師

閉会のあいさつ



ふるせ じゅんじ
古瀬 純司

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立がんセンター 総長
地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 理事

【学歴・職歴】

1984年3月 千葉大学医学部 卒業
1984年5月 千葉大学医学部附属病院 第一内科 研修医
1985年10月 清水厚生病院 内科 医師
1987年10月 千葉大学医学部附属病院 第一内科 医員
1990年4月 社会保険船橋中央病院 内科 医長
1992年1月 国立柏病院 内科 医師
1992年7月 国立がんセンター東病院 臨床検査部 医員
1999年4月 国立がんセンター東病院 病棟部 医長
2008年3月 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授
2022年4月 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター総長
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事
(現在に至る)



本日の講演をYouTubeで配信します

本日の講演は後日、独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター公式 YouTube チャンネルでも配信を予定しております。

詳細は神奈川県立がんセンター（および医用原子力技術研究振興財団）のホームページをご確認ください。

神奈川県立がんセンター公式 YouTubeチャンネル



<https://www.youtube.com/channel/UCK1953a0Vb6spsDE8fMBBVQ>

詳細はホームページをご確認ください

神奈川県立がんセンター



<https://kcch.kanagawa-pho.jp/index.html>

医用原子力技術研究振興財団



<https://www.antm.or.jp/>



黄色い葉は 痛くない、切らない、簡単 の3つを表しています。

緑の葉は やさしい治療 を表しています。

「Quality of life」は、

放射線治療が QOL (Quality of Life) の向上に大きく寄与し、
がん治療の新しい時代を切り拓いていくという決意を表しています。



神奈川県立がんセンター **i-ROCK**

〒241-8515
神奈川県横浜市旭区中尾二丁目 3 番 2 号

神奈川県立がんセンター



公益財団法人
医用原子力技術研究振興財団

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 ニッケイビル 5 階

ANTM



神奈川県立がんセンター及び医用原子力技術研究振興財団の活動については、ホームページからご確認いただけます。